

発行：中の島地区町内会連合会  
発行日：平成 21年 1月 27日

新年あけましておめでとうございます。正月三が日もおわりましたが、皆様のお正月はいかがでしたでしょうか？ 各学校も三学期が始まり、新しい希望に満ちた年が始まりました。26日からの“中の島アイスヤドル大作戦”では、暖気のため製作に苦慮されたと思います。今年の中の島も行事が盛りだくさんとなりそうです。町内会員皆さん多数が行事に参加されますことを願っております、(^o^)

## 中の島地区町内会連合会新年交礼会



地区連恒例の新年交礼会が、1月7日(水)に中の島会館で盛大に執り行われました。当日は豊平区をはじめとする区関係者、小学・中学・高校の学校関係者、中の島各区の老人クラブの代表者、地区連役員及び単位町内会関係者等、総勢約90名が参加して、新年をお祝いすると同時に参加者相互による交流を行いました。



## 避難所体験

1月11日(日)から一泊で第3回冬の災害避難所体験を平岸・中の島少年消防クラブ(主催)と尚志学園高校の生徒会が中心となって避難所体験実行委員会を組織し同校体育館で開催しました。クラブ員や地域の方、他区の一般の方など150名程が参加しました。この催しは災害時の避難所を再現し電気・ガス・水道が使えないという設定で一夜を過ごし災害への備えを考えてもらうというものです。会場には消防車も駆けつけ子供達も大喜びでした。又、食事は非常食のアルファ米が配られ初めて食べたクラブ員は「美味しいけど毎日は食べたくない」と感想を漏らしていました。夜は暖房を切った真っ暗な体育館に寝袋等で床に直接寝ました。今回は尚志学園高校の全面協力により無事に終了しました。(記事・写真提供 平岸・中の島少年消防クラブ 阪田 収氏)

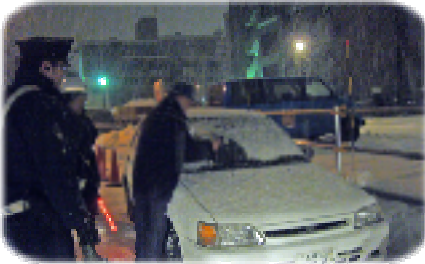


# 道路パトロール

1月14日(水)、15日(木)の両日夜6時から町内会と豊平警察署、豊平区土木部、市民部交通安全推進委員会の職員を含め延約50名が参加し、中の島地区の“青空駐車”や“違法駐車”の一掃パトロールを実施しました。

初日は、南22条通りを境として北方面、翌日は南方面をパトロールし、2日間で、約70台の車に“ステッカー”で注意を促しました。

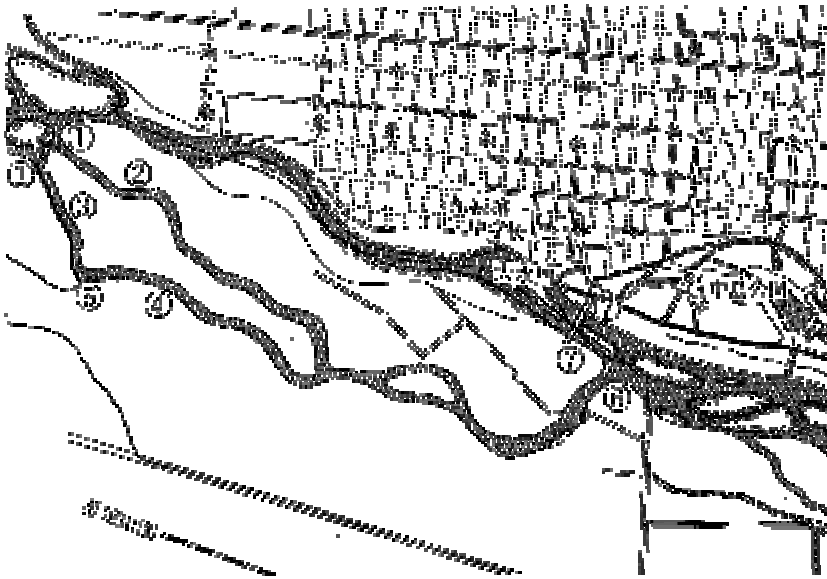
これから雪が多くなる時期になり、除雪の妨げ、火災発生時や救急による緊急車輛の通行の妨げを防ぎ、住み良い環境と安心安全な地域にすることは、何より重要です。“青空駐車や違法駐車”を無くす様一層の努力をしましょう。



## 中の島の開拓のころ

明治時代(豊平村のころ)は「中河原」といわれ、大正時代(豊平町のころ)には「中島」といわれました。昭和8年に、地番の改正(土地をきちんと区分けするために、番地をつけて整理すること)があった時から「中の島」というよびかたになりました。

中河原とよばれていたころ、むこう岸に住んでいた人たちは「川のむこうは広い川原が崖まで続



大正12年の地図

いていて何もなかった。ただ、柳の木と、ひとかかえほどもある大きな石がごろごろしていた。」と語っています。

やぶや草原には、大きなバッタやキリギリスがたくさんいて、夜には床の下で鳴くコオロギの音が聞かれるほどでした。また、走る子どもの顔に赤とんぼが、ぶつかるほどたくさんいましたし、蛇やたぬきも見られました。

このころは、たびたび豊平川の洪水がありました。そのころ住んでいた人は「何回も大水が出て苦労した。子どもの頃、私は母親にすがり胸まで水につかりながら避難したことがあった。」と、話しています。

昭和の始め頃から豊平川東側(中の島側)の堤防工事がはじめられ、昭和5年に完成しました。これで水害の心配もなくなり、人々は雨の日も風の日も、安心して住めるようになりました。

昔とどのように変わったか、上の地図を見ましょう。豊平川のこのところが、昭和のはじめの堤防工事によってせき止められたため、のの流れがなくなり豊平町や平岸と地続きになりました。精進川に豊平川が流れ込んでいたのは精進川だけが流れています。は昔から滝になっていた所です。この精進川は、の土木試験所のあたりで豊平川へ流れ出ています。のところに幌平橋があります。昭和2年に河合才一郎さんが自分のお金、約4万円でかけたのがこの橋の始めです。この橋によって、札幌の中心部との行き来が便利になり、だんだん開けて行きました。

「郷土誌 なかのしま」より抜粋